

I 科学技術予算のポイント

- 強い経済（名目国内総生産600兆円）実現のためには、経済・社会システムの大幅革新が不可欠。
- その「鍵」となる科学技術イノベーションについて、その中核を担う文部科学省として一層強力に推進。特に、平成28年度は第5期科学技術基本計画の初年度にあたることから、必要な予算額を確保しつつ、ここに掲げる取組を着実に実施。

II 主要な取組

1. 未来の産業創造と社会変革に向けた取組の推進

- 人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクトの創設
 - 世界最先端の人材が集まる革新的な人工知能等の研究開発拠点を理化学研究所に構築するとともに、新たなイノベーションを切り開く独創的な研究者を支援。

2. 経済・社会的課題への対応

- 地震・火山・防災分野の研究開発の推進
 - 火山災害の軽減に向け、「観測・予測・対策」の一体的な火山研究・人材育成に取り組むほか、地震・津波の調査観測を着実に実施するなど、防災分野の研究開発を推進。
- 省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発
 - 材料創製からデバイス化・システム応用まで、窒化ガリウム(GaN)等を用いた次世代半導体の研究開発を一体的に加速するための研究開発拠点を構築。

3. イノベーション創出に向けた研究基盤の強化

- 科学研究費助成事業(科研費)
 - 研究者の独創的な発想に基づく多様で質の高い学術研究を推進。特に新たな学問領域の創成や異分野融合等につながる挑戦的な研究支援など、科研費の改革・強化。
- 科学技術イノベーション人材の育成・確保
 - 卓越研究員制度の創設
 - ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

- 研究設備・機器の共用化の促進
 - 競争的研究費改革と連携し、大学等における研究設備・機器の共用システムの導入を加速するとともに、産学官の共用促進に向けた施設・設備等のネットワーク化を支援。
- 世界最高水準の大型研究施設の整備・活用

4. 新たな科学技術イノベーションシステムの構築

- 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム
 - 地域の大学が地元企業や金融機関等と協力しつつ、全国規模の事業化経験を持つ人材の積極的な活用により、地域発の新産業創出を行う取組を支援。
- 産学共創プラットフォームによるオープンイノベーション加速
 - オープンイノベーション加速に向け、大学等に企業から資金・人材を呼び込み、産学官による非競争領域での研究開発等を拡大する取組を支援。

5. 経済成長・国家安全保障を両立する新技術基盤の確立

- 宇宙航空分野の研究開発の推進
 - H3ロケットの開発
我が国の自立的な衛星打ち上げ能力を確保するため、多様な打ち上げニーズに対応した国際競争力あるH3ロケットを2020年の初号機打ち上げを目指して開発。
 - 新たな宇宙利用を実現するための次世代人工衛星等の開発
オール電化・大電力化を実現する次世代技術試験衛星や、国際宇宙ステーション(ISS)計画に貢献する新型宇宙ステーション補給機、将来の宇宙探査に必須となる共通技術の実証に向けた小型の月着陸実証機など、宇宙基本計画に基づき新たな開発に着手。
- 海洋資源調査等の戦略的推進
 - 我が国の領海・排他的経済水域等における海洋資源の科学的成因分析や広域探査システムの実用化に向けた研究開発を推進。加えて、国際連携拠点の整備や若手研究者等の育成に取り組みつつ北極域研究を推進するほか、南極地域の研究を推進。
- 原子力分野の研究開発・人材育成の推進